

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2017年 11月 2日公開
<https://youtu.be/u-aIgCYHbpY>

カリフォルニアより、シャローム。アミールです。外はまだ暗いですが、こちらは朝の6時です。この24時間のうちに起こった事に関して、短くアップデートをしたいと思います。EMP（電磁パルス）訓練について、誰も何も言いませんが、それについても後ほどご説明します。その前に、もっと重要な事、世界の震源地、中東のイスラエルで実際に起こっていることをお話しましょう。

昨日、イスラエル時間の夜10時前に、イスラエルの戦闘機が2つの標的を攻撃しました。一つはダマスカスの隣、もう一つはホムス市、シリアの中心寄りです。標的は武器庫、シリア国内のヒズボラが所有する武器庫です。しかし、報告がされるたび、今ではそこがイランの活動に占拠されていることがどんどん明らかになって来ています。そこでのイランの産業活動の一部は、ミサイル建造の支援です。この、ホムス近くの準工業地域には、イランによって建てられた、イランの会社の工場が並んでいて、その一部は、車産業、他の部分は、あちらでのミサイル建造を支援するものです。ということで、イスラエルがそれを破壊したのですが、その時、ロシアの大統領ヴラジミール・プーチンは、イランのテヘランでハメネイを訪問中、そしてまた、同時に、ヒズボラの指導者ナスララは、ハマスの首席補佐官代理と会談中でした。このように、パレスチナ、ハマス、イランが両側にいて、また、ヒズボラは、基本的にはイランの代理であり、パレスチナとイランを繋げています。それから、この地域にロシアが介入していることも、お分かりでしょう。そして、この攻撃は、イランにとっても、ヒズボラにとっても、レッドライン（超えてはならない一線）に触れるものだったのです。また、そこを囲んでいるロシアにとってもそうであったと思います。理解していただきたいのは、我々は、シリア内でのイランの駐留、イスラエルを攻撃する準備のための軍事的駐留を、絶対に容認しません。ご覧の通り、今回が初めて起こった事ではありませんが、プーチンがテヘランにいて、ナスララがベイルートでパレスチナと会談している最中にこれが起こったのは初めてです。着想はとても単純です。イスラエルは、ヒズボラであれ、イランであれ、シリア側に新たな前線を創り出すことは認めません。ただ、今回私が強調したいのは、プーチンとハメネイの会談の最中、ハメネイがプーチンに言ったことです。

「ロシアとイランが一緒になれば、アメリカを孤立させることができる。」

「アメリカを脇に追いやることができる。」

そして、数時間前、テレビで放送された、ハメネイの発言は、

「アメリカが一番の敵である。」

そうすると、すぐに左翼やりべラルが、

「ドナルド・トランプがイランに対して厳しい発言をしたから、こんなことになったんだ！」と言うのは分かりきっていますが、皆さん、言うておきます。オバマが、イラン協議に調印した翌日、テヘランの通りでは行進が行われて、

「アメリカに死を！イスラエルに死を！」

と叫んでいたのです。そして、文字通りアメリカの国旗を床に置いて、足で踏みにじっていました。ですから、イランがアメリカに抱く敵意は、イラン協議によって、全く変わることはなかったのです。

ここで、

「イランは何故、そこまでアメリカを憎むのか？」

と思う方もいるでしょう。そこで、イスラエルが登場するのです。彼らは、アメリカを「大きいサタン」イスラエルを「小さいサタン」と呼びます。しかし、覚えていますか？聖書預言は、全てイスラエルが中心です。全て、イスラエル周辺です。神が、イスラエルのために、イスラエルを通して行おうとしている事です。また、キリストが戻って来るには、イスラエルがなければならないのです。そして、彼は再臨のとき、イスラエルのユダヤ人の所へ戻って来られます。ですから、考え方としては、とても単純です。イランが、イスラエルを消し去るためには、まずアメリカを消さなければならないのです。これは聖書を見れば分かります。エゼキエル書の中に、イスラエルを攻撃するロシア、イランは登場しますが、それを容認しないアメリカ、報復するアメリカは出て来ません。この戦争の中に、アメリカは出て来ません。だから結論として、エゼキエルが語った戦争は、確実にアメリカが孤立したことを、ロシアとイランが確認した後に起こる戦争だということが分かります。

それから、誰もが北朝鮮との対立に際して、何らかの覚悟をしていることは、私も知っています。北朝鮮沖の、大規模なアメリカ海軍の戦艦駐留も知っていますし、グアムでは警戒を高めていることも知っています。F-35をあちらの地域に送ったことも知っています。それから、EMP訓練が行われることも知っています。ところで、「EMP訓練」は、「EMP攻撃」ではありません。これは、電磁パルス“攻撃”ではなく、“シミュレーション（模擬）”です。混乱の原因は、もともとの発表は、「“National（全国的に）”送電網の不能」だったのを、アマチュア無線コミュニティーのウェブサイトが、“Notional（概念の）”と伝えたためだと思います。「これは実際の送電網の閉鎖ではない」と。しかし、これが概念であろうと、全国的であろうと、どうでも良いのです。アメリカは理解しているのです。インターネットでEMP攻撃に関する議会公聴会を見れば分かりますが、アメリカは、北朝鮮から来るかも知れないEMP攻撃に備えているのです。ただ、私個人的には、私たちは、イランが言っている事、そして、それに対してロシアが一切反応せず、何も言わない事に、もっと慎重に耳を傾けるべきだと思います。北朝鮮は、アメリカが彼らに対して何も行わないと感じるなら、アメリカに向かって何もしないでしょう。北朝鮮には、宗教的なアジェンダ（計画）はありません。彼らが求めているのは、ただ生き残ることです。彼らは、自分たちが生き残るための唯一の方法は、十分な武器を備えて、誰も彼らに手出し出来ないようにすることだと信じているのです。それが目的です。「生き残り」です。彼らは、アメリカが攻撃しない事が保障されれば、あちらから何かを仕掛けることはありません。

しかし、イランは、世界の他の場所で、アメリカを複数回攻撃しています。そして、イランには宗教的アジェンダがあるのです。イスラム聖戦主義者は、アメリカのような実体が存在することを容認しません。ニューヨークのテロを見てください。同じようなテロ攻撃が、ヨーロッパ中で起こっています。彼らは欧米を憎み、その文化、民主主義を代表する、全てのものを憎んでいるのです。彼らは、彼らのシャリア法（イスラム法）を課したいのです。彼らは、彼らの思考、彼らの生き方を強要したいのです。だから皆さん、理解しなければなりません。アメリカにとって、どちらの方が危険なのか、もし、私が決めなければならないなら、言うておきますが、イランは、アメリカにとって、北朝鮮よりもはるかに危険です。これが私の個人的見解です。北朝鮮は、聖書預言には出て来もしません。しかし、イランは出て来ます。ロシアも出て来ます。北朝鮮はただ、イランが準備していることの、煙幕の役割を果たし

ているに過ぎない、と私は思います。

今日のアップデートで皆さんにお伝えしたかったのは、この2点です。

イスラエル南部では、トンネル破壊を巡って、緊張感がさらに高まっています。死亡したテロリストの数は20名近くいて、トンネルを掘っていたイスラム聖戦主義者たちは、死者数を数えながら、現在激怒しています。彼らは、これを最大の達成だと見ていたのに、結局墓と化したのですから。彼らの墓場です。そして、彼らはこの怒りをどこにぶつけて良いのか、分からないのです。彼らは、イスラエルに対してロケット攻撃を行う、と脅していますが、イスラエルがそれを黙認せず、すぐに報復することは、彼らも分かっています。イスラエル南部のガザ地区で、これ以上の事態の悪化は誰も望んでいないと思います。だから、これがどのように展開するのか、目を見張っていますが、興味深いのは、イランが彼らの手先であるヒズボラを使って、ハマスと会談を行うと、絶対に平和についてではなく、決して平和的解決ではない、絶対に平和な状況ではないのです。彼らは常に、どのようにしてイスラエルと戦争するか、イスラエルとの軍事的対立に持ち込むか、それだけです。常に、殺し、攻撃、破滅、それが全てです。ですからイスラエルは、ハマスとの伝達手段である、エジプトを通して、彼らに実に明確に伝えてあります。あちらの領土からやって来るいかなるものにも、我々は容赦しないことを。我々がしたのは、自国の防衛のみです。はるばる、我々の領土にまで入って来たトンネルを破壊しただけですから。実際に破壊したのは、我々の領土内に入っていた部分だけです。そして、中にいた大勢のテロリストと、中に置かれてあった多数の爆破物が死亡の原因ですが、彼らはそれを隠しています。

以上です。今回のアップデートは、最新の、シリアでのイスラエルの攻撃についてと、イラン大統領の、アメリカに関する最新の演説について、でした。先ほども言いましたが、聖書的に物事を見て、もし私がアメリカ人なら、私は北朝鮮よりもイランの方をもっと心配するでしょう。イランには、宗教的アジェンダがありますから。北朝鮮は、ただ生き残りたいだけです。私は北朝鮮が好きではありませんが、ただ私が言いたいのは、北朝鮮は自分たちがアメリカによって破壊されると感じない限り、アメリカに触れることはない、ということです。しかし、イランにはその必要はありません。イランは、彼らの宗教的アジェンダを強要するために、必要な事を行います。大きな違いです。アメリカが麻痺した瞬間に、イランとロシアが動き出すのは、目に見えていますね。

ということで、カリフォルニアより、アップデートしました。平和な週末のためにも、お祈りください。ありがとうございます。シャローム！God bless you! さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>